

年次	平成28～29年度(実施済)	平成30年度(実施済)	平成31年度	平成32年度以降
テーマ	行動計画、手順書(案)	手順書(案)	実効性向上、課題対応	実効性向上、課題対応、航路啓開
伊勢湾BCP協議会	○第1回作業部会(平成29年1月) ・連絡窓口と連絡手段の確認等 ○第2回作業部会(平成29年2月) ・図上訓練で抽出された課題への対応 ・伊勢湾BCPの一部改訂等 ○第3回作業部会(平成29年12月) ・手順書(案)の検討(連携体制の構築、資機材の調達、優先順位の設定) ○第4回作業部会(平成30年2月) ・手順書(案)の読み合わせ ・課題の抽出	○第5回作業部会(平成30年9月) ・既存手順書(案)の見直し ・新規手順書(案)(被害状況調査、航路啓開作業)の検討 ○第6回作業部会(平成30年11月) ・既存手順書(案)の見直し ・新規手順書(素案案)(被害状況調査、航路啓開作業)に基づく図上訓練の実施 ○第7回作業部会(平成31年1月) ・第5・6回作業部会の結果を踏まえた手順書(案)の検討 ・伊勢湾BCPの一部改訂	○第8回～作業部会 <図上訓練> ・手順書(案)に基づくロールプレイング方式の訓練の実施 ○第9・10回～作業部会 <検討> ・訓練結果を踏まえた手順書の見直し ・航路啓開作業に必要な燃料油の確保 ・災害時の海底障害物等の状況把握及び利用水深確認方法の整理 ・伊勢湾全体での揚収物の仮置場確保 ・航路啓開作業能力の精査 ・訓練で抽出された結果への対応 ・伊勢湾BCP一部改訂等	○第9回～作業部会 <図上訓練> ・手順書(案)に基づくロールプレイング方式の訓練の実施 <実働訓練> ・啓開状況等の情報発信内容の協議 ・初動時の被災情報収集 ・被災状況調査、航路啓開等作業の指示 ○第10回～作業部会 <検討> ・高潮・風水害を考慮した伊勢湾BCPの改訂 ・訓練で抽出された課題への対応 ・伊勢湾BCPの一部改訂
	○第1回協議会(平成29年3月) ・伊勢湾BCPの改訂、今後の方針確認 ○第2回協議会(平成30年3月) ・一部改訂、手順書(案)の検討状況、今後の活動内容(想定)	○第3回協議会 ・伊勢湾BCPの一部改訂、手順書(案)の策定状況、今後の活動内容(想定)、講演	○第4回協議会 ・成果報告、伊勢湾BCPの一部改訂、手順書(案)の見直し、今後の活動内容、等	○第5回～協議会 ・成果報告、伊勢湾BCPの一部改訂、今後の活動内容

【活動における結果】 ○広域連携体制、行動計画等の基本方針 ○手順書(案) ○作業申請手続きの簡略化 ○関係者間の情報共有サイト	【各構成員が継続的に実施する検討事項】 ●訓練 ・情報伝達・通信訓練の実施(機器・手順) ・災害を想定した図上訓練・実働訓練の実施 ●教育 ・防災教育プログラムの検討及び実施 ・防災リーダーの育成
---	---

【検討が必要な主な課題】 ※青は実施済み、赤は新規 ●広域連携体制の構築 ・通信断絶時の初動体制の確保 ・発動基準と広域連携体制設置手順の整理 ・情報伝達手段としてのSNSの活用 ●優先順位の設定 ・限られた情報による優先順位の判断手順の整理 ・臨港道路、緊急輸送路の図面整理(道路名称、管理者、連絡先) ・施設設点検診断カルテの活用方法の整理 ●資機材の調達 ・既存の作業船情報の活用方法を検討 ・効率的な船舶の動静把握 ●港湾物流機能確保の情報共有 ・中部地方整備局、第四管区海上保安本部、中部運輸局、港湾管理者による情報発信内容・発信体制の協議	●航路啓開 ・UAVを使用した調査に関する検討 ・「伊勢湾の緊急確保航路啓開活動手順」暫定版の改訂 ・港内航路啓開の費用負担と直轄債での負担範囲 ・作業許可申請・届出の効率的な手続き ・地図ソフトを活用した情報集約システム ●揚収物の仮置・保管 ・がれき仮置き場、処理の手続きの確認 ●緊急物資輸送体制の確保 ・緊急物資民間企業協定の対応 (田原市-トヨタ自動車(株)、半田市-JFEスチール(株)) ●燃料油輸送体制の確保・電力・都市ガス輸送体制の確保 ・行政と専用棧橋所有企業(石油、電気、ガス)の航路啓開に係る費用負担情報
---	--